

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第51号(2011 5 31)
事務局川西地区自主防災会

東北地方被災地支援を行って

川西地区自主防災会

岩崎正朔

「昭和三陸沖地震」更に「チリ地震による津波被害」と災害に対する反応は、我々讃岐人より優れている三陸地方の人達でも約3万人に迫る死者・行方不明者をだした今回の東北・関東大震災、現場に立ちってみると言葉が出てこない。無性に涙があふれてくる。

世の地獄とは、これを指すのだろうか・・・と。

防災活動に携わって丸10年、南海地震の勉強と対策を多くのセミナー・シンポジウムに出席して、そこから得たものを年月をかけて実行に移して地域の皆様と共に整備を図ってきました。この度東北地方の被災地へ支援に出かけたのも「少しでも役に立ちたい」という気持ちと大災害の現場を目にして「更に地域防災力を高めたい」という少し欲張った気持ちも率直にありました。

5カ所の避難所に「炊き出し」支援を行いながら、ソッと避難生活を見せていただきましたが、東北の皆さんは、辛抱強く明るくて、あったかい人間味あふれる人達ばかりでした。早く復興して、3月11日午後2時47分以前の生活に帰られるよう願うばかりであります。

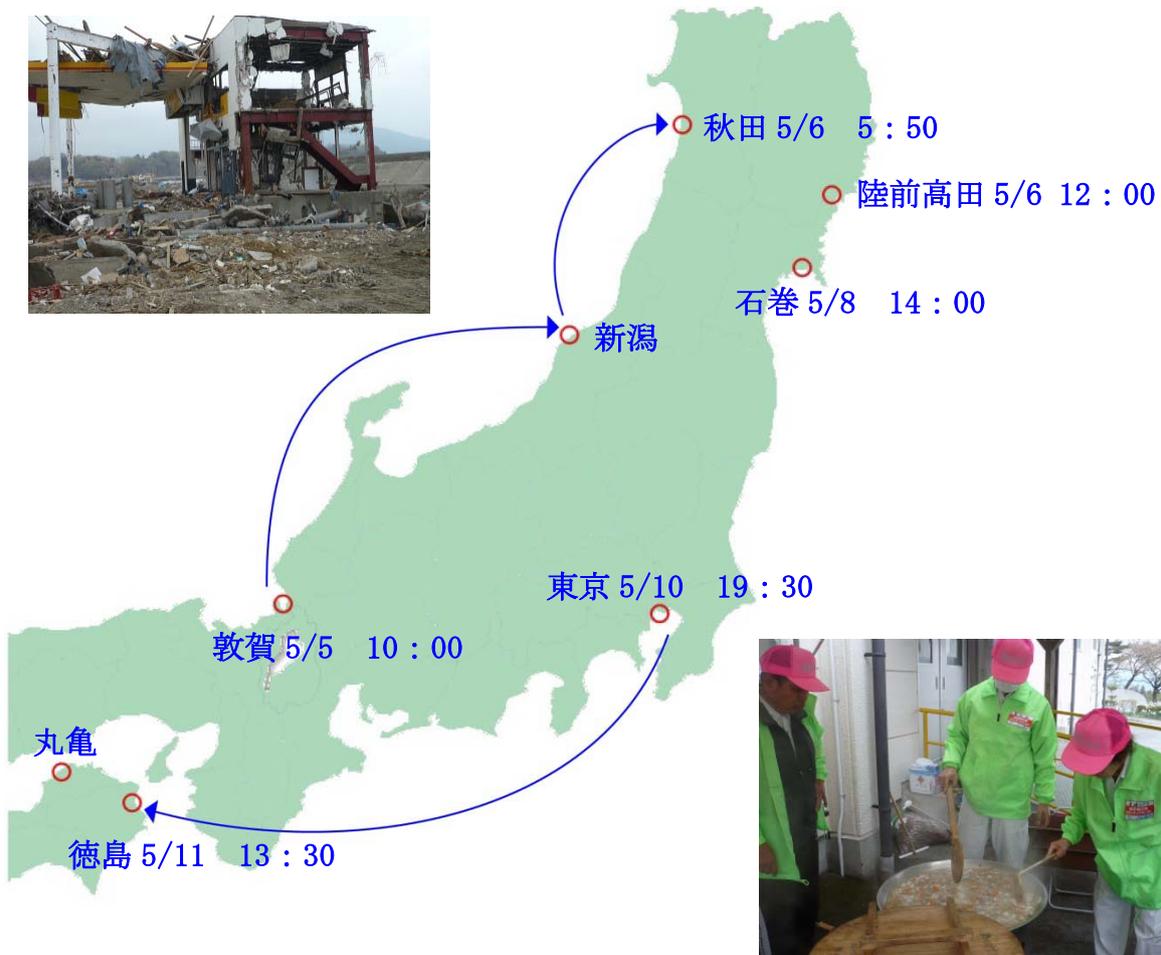
東北への支援活動第2弾 <5/5～5/11>

先月宮城県石巻市への「炊き出し」を行った際、避難所の皆さんからあと1日か2日残ってほしいと涙まじりに訴えられておりました。

その言葉が耳から離れません。何とかしてこのご要望におこたえしようと、関係者の皆様をお願い申し上げ、このたび実現の運びとなりました。

<川西コミュニティセンター>
5/5 (木) 午前2時⇒出発

岩手県陸前高田市到着 5/6 (木)
<ボランティアセンター>11:15



◎福祉施設「ひかみの園」に「炊き出し」用品をセットして、2 km 位離れている老人ホーム高寿園含め避難者 350 名の朝食として味噌汁、夕食としてカレーライスと豚汁を用意させていただいた。

◎5月7日、朝食を用意して配達業務も終了したので「被災の現場」である陸前高田市の市街地を見て回りましたが、大きな防波堤もすべて飛ばされているし、日本百景に指定されている「高田松原」も根こそぎ持って行かれ、街はかいめつ状態です。ライフラインも復旧が遅れており、避難生活も厳しい状況です。



◎5月8日（日）朝食作って配達業務も終了。このあと石巻市へ移動するため荷物整理後、避難所の皆さんや「ひかみの園」の関係者の皆さんにごあいさつをさせていただきましたが、双方共に涙の連続でした。とにかく、避難所生活の皆さんには、元気をだして新たな「陸前高田のまち」を作ってほしいと願うばかりです。



◎5月8日（日）午前11時～

石巻市への移動途中に「気仙沼市」に立ち寄って被災状況を視察。港近くの町は全焼。まだコゲくさい臭いが強く鼻を刺激する有様です。まだ遺体が多く残っているということで多くの警察官がガレキを取除きながら捜索活動を行っていました。



◎5月8日（日）14:30

石巻市の市立女子高等学校に到着。1ヵ月ぶりのまち風情です。お久しぶりですと言って学校の玄関に入りますと、やあ、その節はと言って市から派遣されている高橋さんと、15分位して校長先生に再会のごあいさつ。その後「炊き出し」の準備。あいかわらずご近所の皆さん鍋をさげて集まってきました。約300食の豚汁を気持を込めてお配りさせていただきました。



◎ 5月9日（月）

朝食用の味噌汁を作って配達終了。私達6名は昨夜の残りものとうどんを入れての食事。その後近くの日和山公園へ。春らしくボタン桜が満開でした。



◎ 5月9日（月）

午前10時ごろから15Kメートルほど東に位置する女川町の被災状況を視察。町役場、消防本部、漁業組合、市場などかいめつ状態。海岸から内陸へ500メートル位の高台にある墓地に電車が流されるなど、とうてい私達に想像出来ない景色である。



◎5月10日（火）

東北支援最後となった味噌汁作りも順調に終了。トラックに積み込みを行い校長先生始め関係者の皆さんにごあいさつを行った後、玄関前にて記念撮影を行って、いずこかの再会を約して車上の人となりました。約1週間にわたる「炊き出し」による支援作業、無事終了できたのも参加していた皆さんそれぞれのご努力のたまものだと感謝しております。この貴重な体験を「かわにし」のまちづくりと県内の自主ぼうのご活動に生かして行きたいと思っています。最後にこの取り組みにあたってご支援、ご芳志を賜りました企業、団体、更には有志の皆さんにお礼を申し上げます。



東北地方支援活動を体験して、今後勉強すること

- 1、 きめ細かな避難所の見直しと避難経路の再調査
- 2、 ため池、ダム等下流域の防災対策
- 3、 長期避難所運営に対する仕組みづくり
- 4、 ライフライン断時のトイレ対策（避難所）

以上